

議題 1 平成 31 年度環境教育・環境学習ネットワーク会議の事業について

本日議論していただくこと

平成 31 年度の環境教育・環境学習ネットワーク会議の事業について、内容等を検討する。

1 平成 31 年度相互交流を生かした人材育成講座について

(1) 環境活動者向け

①引き続き、対象は市民活動団体（個人含む）とし、活動者たちのスキルアップを目指す。

②講座は、「教育・学習の技術につながる研修（座学）」と、「環境に関する知識を深める研修（施設見学）」の構成とする。

➤ 目的

【長期的】

- ・ 経験に基づいた専門知識や地域の環境情報等を教え合うことで、環境教育の実践的な人材を育成する。
- ・ 講座の開催を通して、主体間の交流を図る。
- ・ 連携、協働実施の効果を図る。

【短期的】

- ・ 現在市内で環境教育活動を行っている市民・市民団体に、情報や学びの場を提供し、よりいっそうのレベルアップを図る。

以上のことから、講座内容については

市域の環境教育の中心的な担い手である市民活動者への講座に重点を置き、市民活動団体、地域、事業者、学校、行政等が相互に専門知識を教えあう人材育成講座を開催する内容とする。

〔講座案〕

企業や研究所などによる環境教育の紹介や、環境の取り組みを知ることで、環境活動の知識を深める。また、これまで比較的交流が少なかった、市民活動団体と企業のつながりをつくる。

テーマ：環境の取り組み・環境教育事例の見学

内 容：企業や研究所における環境の取り組みの紹介と見学

平成 31 年度は「J A M S T E C 横浜研究所」を提案したい。

講 師：未定

(2) 教員向け

➤ 目的

市内の環境に関する知識を教員に深めてもらい、授業で活用してもらう。

➤ 実施概要

- ・教育研究所と協議、連携して実施する。
- ・講座の内容については、教育研究所実施の研修との重複を避け、教員のニーズにあったテーマとするよう調整する。
- ・環境企画課は、講座の企画、講師等の手配、当日の運営を行う。
- ・教育研究所は、教員への周知、参加申し込みの受け付け、当時の総評を行う。

〔講座案〕

平成 31 年度は「開園 60 周年をむかえる馬堀自然教育園」で横須賀の自然や地層について学ぶことを提案したい。

(3) これまでの開催内容

(別紙 4-1 参照)

2 平成 31 年度「よこすか E C O 通信」について

(1) 概要

- ①市内で行われる環境関連事業等の情報を集約し、情報誌として年 4 回、3,500 部発行。
- ②市関連施設での配架、学校等への配布を行っている。

(2) 目的

- ①市民団体や事業者等さまざまな主体で開催する環境関連事業（イベント・講座等）の情報を集約し、一元化する。
- ②一元化した環境関連授業を、広く市民に情報提供する。

(3) 平成 31 年度の一面テーマについて（案）

年度	号	発行月	表紙（1 面）のテーマ	活動団体紹介等（3 面）
2019	33	6	環境特集	「横須賀いいね★エコ活動賞」受賞団体の活動内容①
	34	9	里山	「横須賀いいね★エコ活動賞」受賞団体の活動内容②
	35	12	冬の省エネ	環境フォーラムのご案内
	36	3	循環型社会に向けて（ごみ）	環境フォーラムの結果報告

(4) これまでのテーマ一覧

(別紙 4-2 参照)